

平成 2 7 年度

一般社団、財団法人・農事組合法人・
市民団体等における女性委員
登用状況調査報告書

平成 2 8 年 1 月

鹿角市市民部市民共動課

調査の概要

1. 調査目的

本調査では、鹿角市男女共同参画計画に掲げる、一般社団、財団法人・農事組合法人・市民団体等における女性参画推進の評価指標を継続的に把握することで、各法人等に向けた男女共同参画事業の参考とし、男女共同参画施策に役立てていくことを目的としています。

2. 調査対象

鹿角市内の主な社団財団法人・農事組合法人・市民団体等を対象としました。

業 種	社団法人 (一般・公益)	財団法人 (一般・公益)	N P O 法人	農事組合 法人	社会福祉法人	総数
法人数	6	3	7	28	1	45

3. 調査方法

鹿角市内の主な一般社団、財団法人・農事組合法人・市民団体等に対して、調査票を郵送で配布。同封した返信用封筒で調査票を回収。

4. 調査期間

平成 27 年 12 月 7 日（月）から平成 27 年 12 月 25 日（金）まで

5. 調査結果

調査票送付数	45
調査票回収数	25
回 収 率	55.6%

6. アンケート集計結果の取り扱いについて

本調査の集計結果は、各事業所に配布するほか、市ホームページ上で公開します。

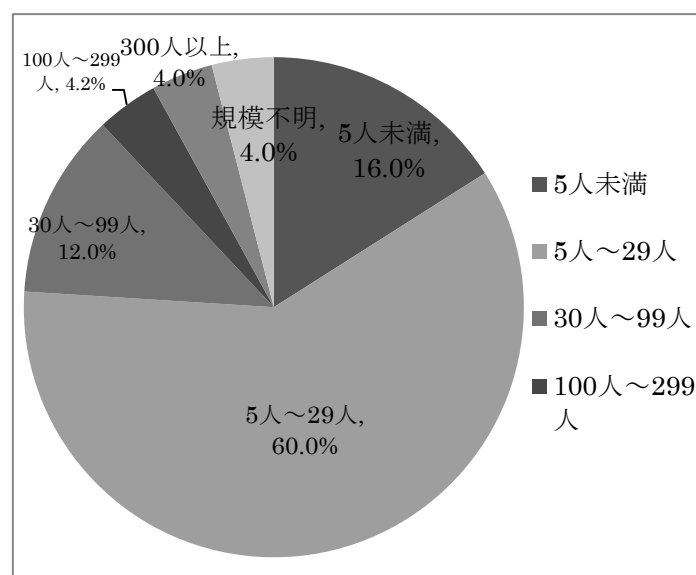
また、鹿角市男女共同参画推進会議に報告するとともに、必要に応じて市民に周知し、事業所における男女共同参画施策の基礎資料といたします。

その際、法人名の記載は行わず、統計的に取り扱うこととします。

※調査結果の割合は、小数点以下第 2 位を四捨五入しており、一部合計がずれる場合があります。

属性

<法人規模別割合>



女性役員の登用状況について

【規模別及び性別割合】

300人以上	87.5%	12.5%
100人～299人	100%	
30人～99人	100%	
5人～29人	78.6%	21.4%
5人未満	100%	
規模不明	83.3%	16.7%

□ 男性 ■ 女性

<全体>

全体でみると、女性役員の登用率は平均 14.4%で、男性 (85.6%) に比べ 71.2 ポイント低い結果となりました。

<規模別>

女性役員の登用率が一番高い法人規模は 5～29 人規模で 21.4%となっています。次いで、300 人規模の法人で 12.5%、5 人未満及び 30～99 人、100 人～299 人規模の法人は 0%でした。なお、法人規模について回答がなかった規模不明の法人については 16.7%でした。

<職員等性別内訳>

内訳 規模	正規職員			臨時的職員			役員		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
300人以上	3	1	4人	1	0	1人	14	2	16人
100人～299人	0	0	人	0	0	人	10	0	10人
30人～99人	24	28	52人	1	15	16人	6	0	6人
5人～29人	0	13	13人	23	32	55人	55	15	70人
5人未満	9	1	10人	2	1	3人	17	0	17人
規模不明	0	0	人	11	9	20人	5	1	6人
合計	36人	43人	79人	38人	57人	95人	107人	18人	125人
男女の割合	45.6%	54.4%	100%	40.0%	60.0%	100%	85.6%	14.4%	100%

<全体>

職員でみると、正規職員、臨時職員共に女性の割合が高くなっています。一方で、役員については男性の割合が高くなっています。

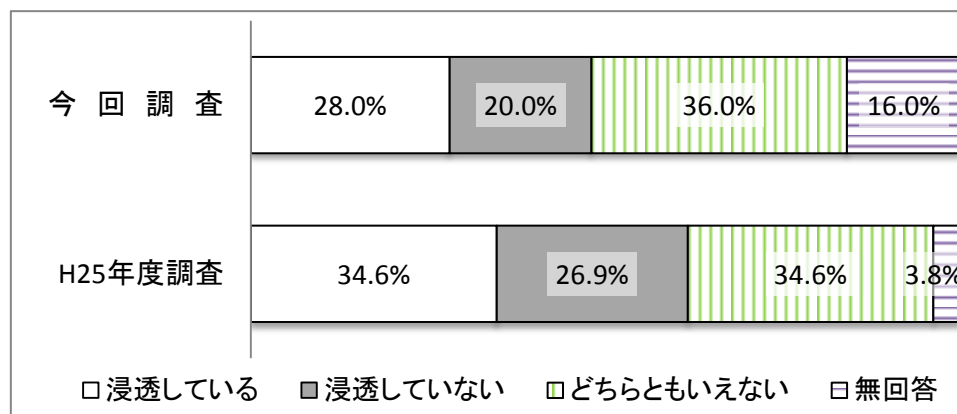
<性別>

正規職員で見ると、男性（45.6%）より女性（54.4%）が8.8ポイント高くなっています。また、臨時的職員で見ても、男性（40.0%）に対して女性（60.0%）が20ポイント高くなっています。

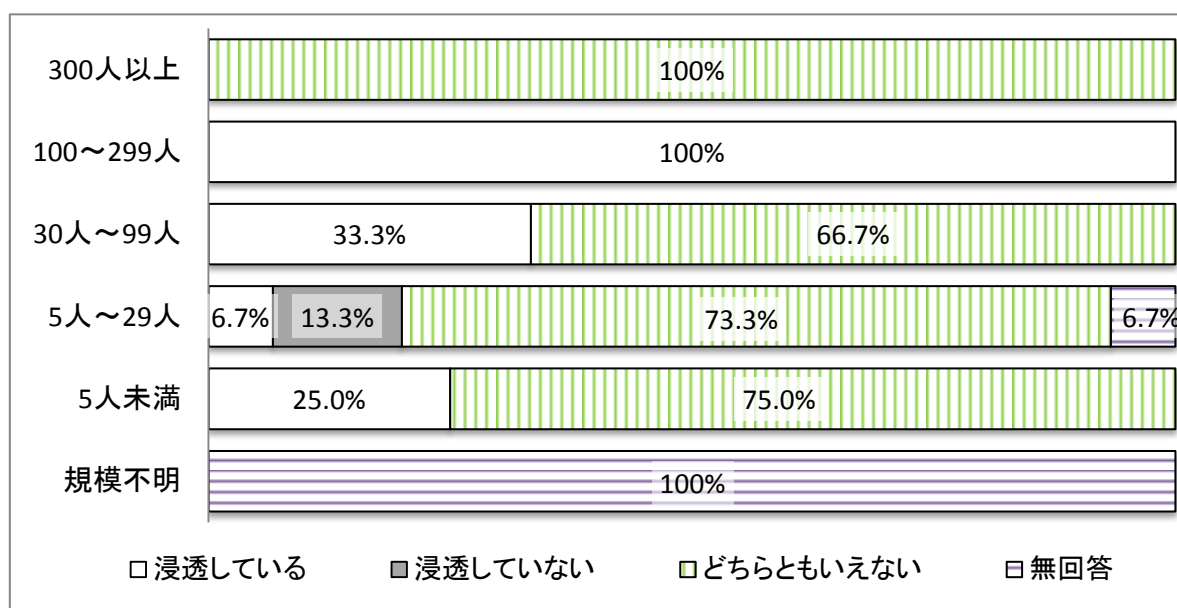
仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について

問1 職場において「ワーク・ライフ・バランス」は浸透していると思いますか。

<全体>



<規模別>



<全体>

「浸透している」が28%で「浸透していない」の16%を12ポイント上回りました。

一方で「どちらともいえない」が、36%を占めていることから、ワーク・ライフ・バランスの周知や推進により力を入れる必要があると考えられます。

<規模別>

100～299人の規模の法人で「浸透している」が100%、300人以上規模の法人で「どちらともいえない」が100%でした。99人以下の規模の法人では、「どちらともいえない」が66.7～78.6%と、いずれも過半数を占めました。

問 1－1 ワーク・ライフ・バランスの浸透について、選択した理由をお聞かせください。

【浸透しているを選んだ理由】

- ・ 農家でも土日休日育児娯楽など取り入れて楽しく働く事
- ・ 残業がなく仕事以外の時間が十分取れている
- ・ 残業もなく、休暇も取りやすいから
- ・ 性別、曜日等に関係なく、行事等に合わせて休日を取得することができる
- ・ ある程度は。地域活動には参加している

【浸透していないを選んだ理由】

- ・ 事業（農業生産）的に難しいと思う
- ・ 多忙な時はなかなかむずかしい
- ・ 家庭を犠牲にしているという思いが強い。すべてを法人の仕事主流に回している。

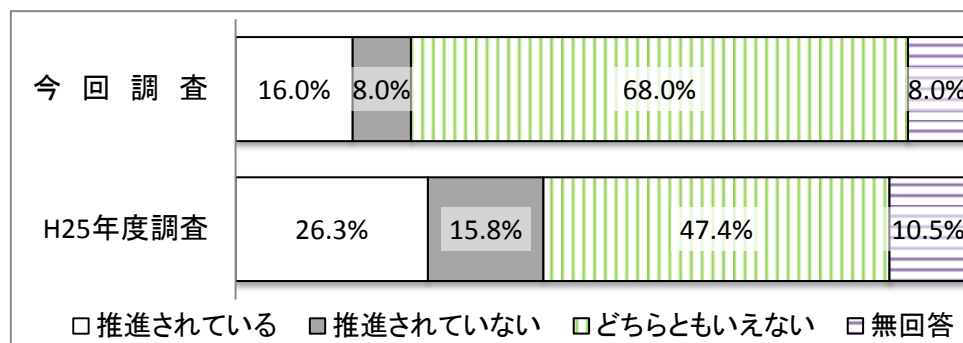
【どちらともいえないを選んだ理由】

- ・ 業務が自然相手なので予定通りにならない
- ・ 個人の生活はプライベートなのでよくわからないため
- ・ 作業によって分けているため
- ・ 個々のことまで把握していない
- ・ そもそも本来の仕事以外の時間を仕事としている（ボランティア活動）のが職員 1 名を除いて全員なので

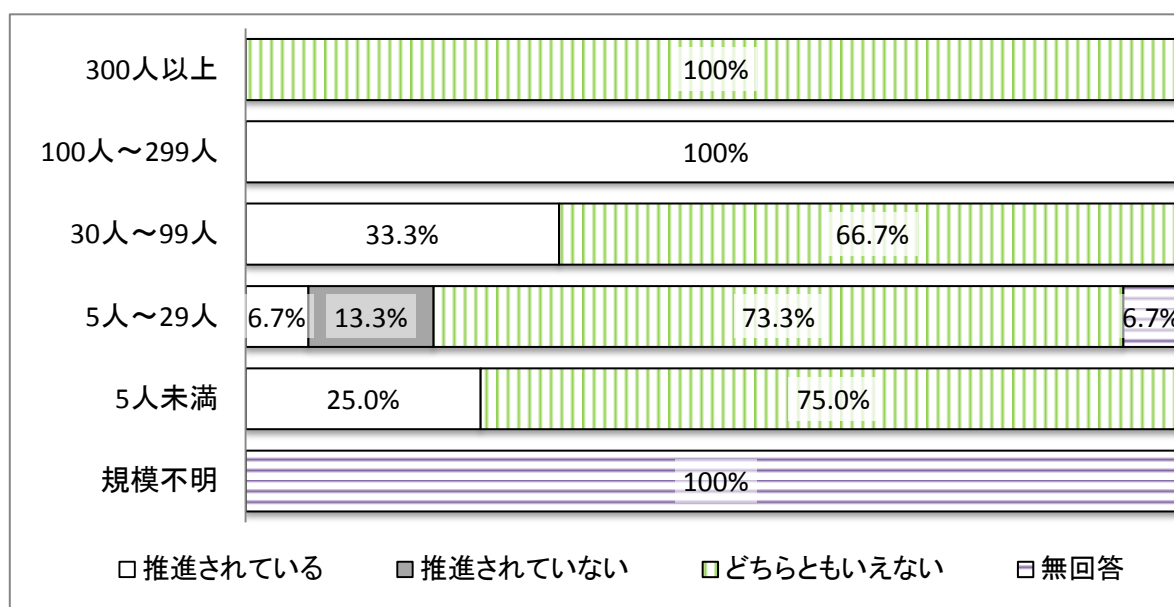
男女共同参画の推進について

問2 鹿角市の男女共同参画は推進されていると思いますか。

<全体>



<規模別>



<全体>

全体でみると「どちらともいえない」が68%を占めており、男女共同参画とはどういったことなのかという具体的な周知を進める必要があると考えられます。

<規模別>

規模別にみると、「推進されている」の割合が高いのは、100～299人規模の法人で100%、次いで30～99人規模の法人の33.3%となりました。「推進されていない」という回答があったのは5～29人規模の法人のみで13.3%でした。「どちらともいえない」の割合は、300人以上規模の法人の100%、5～29人規模の法人の73.3%、5人未満の規模の法人の75.0%、30～99人規模の法人の66.7%でした。規模不明の法人は無回答が100%でした。

問２－２ 鹿角市の男女共同参画の推進について、選択した理由をお聞かせください。

【推進されているを選んだ理由】

- ・それぞれの場面において女性の活動が増えてきている
- ・男女ともに均等に活動しているように思われる
- ・男女により働く場所や分野に多少の違いはあるものの、それぞれの立場で社会活動に貢献、参画していると思われる。

【推進されていないを選んだ理由】

- ・管理職、役員等に女性が登用される例が少ない
- ・まだまだ女性が表舞台で活躍しているとは思えないし、男性主流である。

【どちらともいえないを選んだ理由】

- ・市内の現状を知らないから
- ・役員は２年ごとに選挙で選出されているが、女性の選出は出ていないのが現状です
- ・若い人達は推進されてきておると思う。（子育てなどの環境）
- ・形として目に見えない為
- ・わからない
- ・抽象的な意味合いが大きいように感じる

○【企業、教育機関、各種団体における「仕事と生活の調和」または「男女共同参画社会」の推進に関し、市や県、国に望むことはなんですか。日頃お感じのことやご意見がありましたら、ご記入ください。】

- ・国県市の確実な政策実現が望ましい
- ・暮らしやすい環境作り
- ・このアンケートの内容のような意見交換会すらないので、女性の考えも取り上げ、適宜に実践して男女のバランスが成されるように望みます。